



第44卷 第5号

史学・地理学・考古学

公営田と調庸制	村井康彦 (1)
——貢納制から交易制へ——	
敦煌の寺戸について	竺沙雅章 (40)
十五世紀フィレンツェのプラトニズム	片山佳子 (74)
シュトレーゼマン外交と ヴァイマル共和政の安定	野田宣雄 (100)
批判と反省	
『太閤検地論』の批判に答える	宮川満 (127)
書評	
高千穂・阿蘇	牧健二 (143)
——神道文化会総合学術調査報告——	
京都大学文学部東洋史研究室編：東洋史辞典	布目潮汎 (153)
W. O. Henderson: The State and the Industrial Revolution in Prussia 1740-1870.	大島隆雄 (157)
宗像神社復興期成会編：沖ノ島・続沖ノ島	樋口隆康 (164)
「月の輪古墳」編集部編：月の輪古墳	横山浩一 (167)
紹介	
篠村史 熊本県史料 福井県丹生郡誌 大会予告 会告	

史学研究会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会

史学研究会大会 予告

左記日程により、昭和三十六年度本会及び読史会・東洋史談話会・西洋史読書会連合大会を開催いたします。多数御参加下さいますよう、御案内申しあげます。

◇十一月一日(水) 午前八時半～午後五時

《見学会》 天理探訪

講師 梅原末治氏

天理参考館・天理図書館には、御承知のことと存じますが、考古学・民族学・民俗学・歴史学関係等の資料が多数蔵されています。両館の御好意により、特別見学いたします。

参加会費 六〇〇円(昼食費を含む)

※参加御希望の方は、会費を添えて、十月二十日までにお申込下さい。当日お申込の受付はいたしません。

◇十一月二日(木) 午後一時～四時

《史学研究会大会及び総会》

於 京都大学楽友会館

演 古代日本の水銀文化
——中国水銀鉱業史研究序説——

早稲田大学 教授 松田寿男氏

(講) 河系の文化

——わが国古代における土地開拓を中心として——

大阪市立大学 教授 渡辺久雄氏

◇十一月三日(祝) 午前九時より

《読史会・東洋史談話会・西洋史読書会各大会》

(備考) 大会出席のため、出張依頼状の必要な方は、本会宛御連絡下さい。

会 員 各 位

史 学 研 究 会

がこれに対応する。

(5) 調庸制↓交易制↓臨時雑役制という推転の結果現われた新たな取引体系が、院政期の在家役制ともいうべきもので、土地支配を通じて実現される在家（人間）支配に基づき、手工業生産物を代価なしで一方的に公事として収取する方法である。

取上げようとして残した問題はなお多々あり、又考察不十分な点や誤謬も少くないと思うが、それらの検討は次の機会にゆだねたい。文中先学に対して犯した非礼を御詫びすると共に、本稿に対する御叱正をお願いするものである。

〔附記〕 本稿は昭和三六年六月一日京都大学説史会春季大会（於楽友会館）で発表した草稿に基づいて成稿したものである。

執筆者紹介

- | | |
|-------|-----------|
| 村井 康彦 | 京都女子大学助教授 |
| 竺沙 雅章 | 京都大学助手 |
| 片山 佳子 | 大阪大学大学院学生 |
| 野田 宣雄 | 京都大学大学院学生 |
| 宮川 満 | 大阪学芸大学教授 |
| 牧 健二 | 龍谷大学教授 |
| 布日 潮温 | 立命館大学教授 |
| 大島 隆雄 | 京都大学大学院学生 |
| 樋口 隆康 | 京都大学助教授 |
| 横山 浩一 | 京都大学助手 |

の、一二〇〇頁に及ぶ本書が上梓された。

内容は「歴史」(二三〇頁)、「現代社会」

(一九〇頁)、「文化財・民俗・人物」(一八〇

頁)、「地理」(二三〇頁)、「資料Ⅰ、古文書類」

(二三〇頁)、「資料Ⅱ、地理部門」(七〇頁)

の諸篇から成り、末尾に国史と対照された年

表が附されている。「丹生郡の自然と人文の

あらゆる面を過去と現在に亘つて一通り知つ

てもらふ為の一般読物」たるべく簡潔で

「平易な叙述」を意図した編者の配慮が、す

みずみまでゆきとどいているが、その上にな

お、編者が謙虚に、しかし誇らかに述べるよ

うに、歴史篇におけるいくつかの新しい考

説、民俗篇において民謡の楽譜を掲載したと

いう新しい試み、地理篇における地図、写

真、グラフの存分な活用等の特色をもつて、

変化に富む構成に苦心されたあとが窺われ

る。こうした「読ませる郷土史」のほかに、

今一つの大きな特色は、郷土史料の集大成と

いう面にある。四〇〇点を越える既刊・未刊

の古文書と、三七項目に亘る数表を中心とし

て地理関係資料は、研究者にとつても極めて

大きな魅力となつてゐる。

さて大正一五年七月に郡制が廃止されて以

来、郡の行政的な単位性はもとより、地域單
位としての意味も日に日に失われつつある現
状は否めない。本書はそのような事実を認め

つつ、しかもなお郷土としての「わが郡」を

見つめ、「将来子孫に伝えると共に本郡の教

育・産業等の啓蒙の資に充て」んとして、足

かけ六年の歳月を費して編まれたものであ

る。近年陸続として刊行されるすぐれた地方

史誌中の一雄篇として本書が加わつたことを

慶びたい。(A5版一一五四頁 昭和三五年

一二月 丹生郡町村会発行) (足利健亮)

『史林』バックナンバ

1のお知らせ

◆左証の各号に限り、小數在庫いたしますか
ら、せいぜい御利用下さい。

◆御申込には、定価の他に送料を添えて、必
らず前金にて御願いたします。

◆送料は次の通りです。

定価一〇〇円まで 二〇円

定価一四〇円以上 四〇円

() 内は定価

三三巻 一・二・五(各八〇円)

三四巻 一・二合併(一四〇円) 四(一〇〇

円)

三六巻 一・二(各一〇〇円)

三八巻 二・三・四・五(以上各一〇〇円)

三九巻 六(二二〇円)

三九巻 三・四・五(以上各一〇〇円)・六

四〇巻 一・五(以上各一〇〇円)・六(二

四〇〇円)

四一巻 一・二・三・四・五(以上各一〇〇

円) 六(二〇〇円)

四二巻 一・二・三・四・五・六(以上各一

〇〇円)

〇〇円)

八〇〇円

四三卷 一・二・三・四・五・六（以上各一

八〇〇円）

四四卷 一・二・三・四（以上各一八〇円）

総目録（二巻）四〇巻）（二〇〇円）

「隔装記」送料変更のお知らせ

鹿苑寺発行・当会取扱「隔装記」は、従来

送料八〇円にてお送りしておりましたが、

郵送料の大幅値上げによりまして、次の通

り改訂いたします。御了承下さい。

旧送料 一部当り 八〇〇円

新送料 // 一三〇〇円

なお、一、二、四巻とも、小数が在庫いたします

（頒価各二、〇〇〇円）。

III 編 集 後 記 III

本号に収載した諸論考のうち、宮川満氏の

「太閤検地論」の批判に答える」は、書評の

あり方を反省する意味から、日本史専攻いが

会 告

前号会告にてお願いいたしました通り、最近の印刷費及び郵送料の値上がりにより、本会の財政に重大な支障を生ずるにいたりましたので、本会会費を、昭和卅六年九月より次の通り値上げいたします。御了解をお願いいたします。

旧会費 年額 九〇〇円

新会費 年額 一、二〇〇円

旧定価 一部当り 一八〇円

新定価 一部当り 二〇〇円（送料四〇円）

追而、すでにお払込済みの会費は、本号より、「史林」一冊あたり二〇〇円の割にて計算いたします。なお、会費滞納の方には、至急御納入下さいますよう、特にお願ひ申しあげます。

会員各位

史学研究会

いの方がたにも、とくに注意していただきたいものです。書評のなかには、宮川氏の場合にも指摘されているように（二八八ページ）、批評の対象とする著書の内容を十分に理解しないで批評している事例も見かけます。このような事態が起る原因は、根本的には、批評者の著者ないしは学問そのものに対する態度に由来するのですが、その原因の一半は、宮川氏の例に端的にみられるごとく（一二七ページ）、宮川氏の著書は昭和卅四年4月刊、本の発行から数カ月いずに書評が発表されていることにもあると思われまます。その本を読んだのは、さらに短い期間です。数年ないしは十数年を費して具体化された学問的な成果ですから、もつと時間をかけて研究し、十分に理解したうえで批評する習慣をもちたいものです。（小野山節）

定価 二〇〇円

史 林 （第四四巻第五号）

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行所 史 学 研 究 会

理事 長 宮 崎 市 定
編 集 主 任 赤 松 俊 秀

印刷所 京都市下京区西七条御所ノ内東町三九
中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLIV, No. 5 Sept., 1961

CONTENTS

Articles :

- Transmutation Process of the
Chô-yô 調庸 through *Kueiden* 公營田Y. Murai (1)
- On the *Ssu hu* 寺戸, Selves belong to
the Buddhist Temple in the *Tun-huang* 敦煌M. Chikusa (40)
- Florentine Platonism in the
Fifteenth CenturyY. Katayama (74)
- Stresemann's Foreign Policy and
the Stability of the Weimar RepublicN. Noda (100)

Review and Criticism :

- An Answer to th Criticism
of the Writers Book entitled
“ *Taikô-kenchi-ron* 太閤檢地論 ”M. Miyagwa (127)

Book Reviews

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI
(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan